



News Release

2023年10月26日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

シーズン初めの石油ストーブ安全大作戦 ～5つのポイントで火災事故を防ごう！～

1. 関東甲信越地方の石油ストーブ及び石油ファンヒーター（以下、石油ストーブ等）の事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2018年度から2022年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、石油ストーブ等の事故は74件ありました。石油ストーブ等の事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2018年度	1	1	2	6	2	1	2	3		1	19
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(6)	(2)	(1)	(2)	(3)		(1)	(19)
	2019年度	2	1	2	4	2	3		2			16
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(2)	(4)	(2)	(3)		(2)			(16)
	2020年度			2	5	2	1	2	2			14
	(内数)火災事故			(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(2)			(14)
	2021年度				4	4		3	1			12
	(内数)火災事故				(4)	(4)		(3)	(1)			(12)
2022年度	1		2	2	4	2	1	1			13	
(内数)火災事故	(1)		(2)	(2)	(4)	(2)	(1)	(1)			(13)	
合計		4	2	8	21	14	7	8	9	0	1	74
(内数)火災事故		(4)	(2)	(8)	(21)	(14)	(7)	(8)	(9)	(0)	(1)	(74)

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡	1		2	6	3		1	4		17	
		(内数)火災事故	(1)		(2)	(6)	(3)		(1)	(4)		(17)	
		重傷							1				1
		(内数)火災事故							(1)				(1)
		軽傷				3	3	1	1				8
	(内数)火災事故				(3)	(3)	(1)	(1)				(8)	
	物的被害	拡大被害	2	1	4	10	6	5	4	4		1	37
		(内数)火災事故	(2)	(1)	(4)	(10)	(6)	(5)	(4)	(4)		(1)	(37)
		製品破損	1	1	2	2	2	1	1	1			11
		(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)			(11)
被害なし												0	
(内数)火災事故												(0)	
合計		4	2	8	21	14	7	8	9	0	1	74	
(内数)火災事故		(4)	(2)	(8)	(21)	(14)	(7)	(8)	(9)	(0)	(1)	(74)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの										1	1
	B 製品および使い方に問題があったもの				1				1			2
	C 経年劣化によるもの		1									1
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの											0
	小計	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	4
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの				1							1
	E 誤使用や不注意によるもの		1	1	5	1		3	2			13
	F その他製品に起因しないもの	1		5	2	6	1	2	1			18
	小計	1	1	6	8	7	1	5	3	0	0	32
その他	G 原因不明なもの	3		1	10	3	6	3	5			31
	H 調査中のもの			1	2	4						7
	小計	3	0	2	12	7	6	3	5	0	0	38
合計		4	2	8	21	14	7	8	9	0	1	74

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 石油ファンヒーターの事故事例 (給油口のキャップの締め付け不良)

・ 2022年3月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

使用中の石油ファンヒーターのカートリッジタンクから燃料が漏れて出火し、床を焼損した。

(事故原因)

石油ファンヒーターを消火せずにカートリッジタンクに給油をしたところ、ねじ式のカートリッジタンクのふたの締め付けが不完全であったため、本体にセットしようとした際に灯油が漏れ、ファンヒーターの火が引火して火災に至ったものと推

定される。

なお、取扱説明書には、給油時の注意として、「油漏れ確認、給油時消火、居室内給油禁止」の警告表示とともに、「使用前の給油のしかた」について記載されている。

② 石油ストーブの事故事例①（ガソリンの誤給油）

・ 2018年6月、新潟県、死亡

（事故内容）

石油ストーブ及び建物を全焼、3棟を類焼する火災が発生し、1名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負った。

（事故原因）

使用者が誤ってガソリンを給油したため、事故に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリン厳禁」、「ガソリン等の揮発性の高い油は、絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

③ 石油ストーブの事故事例②（可燃物の近接）

・ 2020年2月、新潟県、拡大被害

（事故内容）

使用中の石油ストーブ付近から出火し、住宅を全焼、隣接する建物1棟を類焼した。

（事故原因）

石油ストーブの内部より出火した痕跡が認められなかったことから、石油ストーブの上方に干していた洗濯物が石油ストーブの上に落下して火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「衣類の乾燥厳禁。衣類などの乾燥には使用しない。衣類が落下して火がつき、火災の原因になる。」旨、記載されている。

（本件に関する問い合わせ先）

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，佐藤，望月，田島

電話：03-3481-1820